

日本人の心と姿～真善美の融合教育の試み

小島 茂

(静岡県立大学経営情報学部)

はじめに

大学は「真」「善」「美」探求の場といわれるが、世の中「偽」「悪」「醜」が蔓延している。そんな中、日本の大学は学問（科学）つまり「真」の探求に特化していて「善」（道徳）と「美」（芸術）を軽視してきたのではないかという指摘があり、筆者も教育現場を通じてその思いを強く持っている。そこで、筆者の所属大学で、一般教育の「日本の心と姿」という講義の中で、江戸時代からの賢人の教えをテーマに、ささやかながら真善美の融合を試みる授業を一昨年実施した。

こうした賢人の文章や箴言を読んでいると、人生において自分がいかに愚かなる足跡を辿ってきたか反省させられる。そのような人間にはこうしたことを教える資格はないようにも思われるが、「真の教育は己の失敗と蹉跎を後に続く人たちに再び繰り返させるに忍びなき一念から生ず」（森信三）という考えに立てば、むしろ失敗者、挫折者こそ教育する資格があるということになる。講義もこの忍びなき一念に基づいて進められている。

今期は、二度目であるが、70名が履修。新生に混じって、60代の男女社会人聴講生ならびにインド、スリランカからの留学生も受講している。今回のプレゼンでは、具体的にどういう授業内容でどういう方法でおこなったか、そして受講生はどう反応したか、新たな授業モデルとしての可能性を報告する。

講義の概要

講義概要はシラバスに記載されているが、江戸時代からの賢人の精神をそのままの言葉を通じて体感してもらうために、以下のことが、現代語ではなく古語で書かれている。

【授業目標】本講は単に知識を得るためのものにあらず。心を洗うためのものなり。現代人が忘れかけている日本人の精神や気高さに触れ、今後、古来の日本人らしく凛とした態度や謙虚さを忘れず大きな志を持って人生を歩んでいくための礎とすべし。

【授業概要】日本の核とは、武士道や道徳観を始めとした江戸時代からの考え方なり。当時、人々物質的に貧しくとも、正直、誠実、勤勉、共生、気品、絆、粋を重んじ、他者を思いやり、四季を慈しみ、自然に感謝し、素朴で、心豊かなり。しかるに、現代の日本人は、物質的に豊かなるも、精神的には貧困に喘ぐなり。本講では、江戸時代から継承されてきた、いにしえの日本のよき精神と姿を見直し、誇りを持って実践していくための指針を示すものなり。

【授業方法】書でいにしえの句を綴り、己の考えを表す。書は筆先に神経を集中させ、朝方の頭脳訓練に資するとともに、日本人としての自覚を促すものなり。

【履修条件】毎回筆ペンを用意すべし。

具体的には、吉田松陰、西郷隆盛、佐藤一斎、二宮尊徳、山本常朝をはじめとする江戸時代からの賢人の箴言を毎回異なるテーマで取り上げる。日本通の外国人や現代日本人を取り上げる場合は文章や箴言を現代語から古語に直す。そして①箴言を黒板に板書して意味を説明する。②受講生に筆ペンで書いてもらうとともに、それぞれについて鉛筆で短いコメントを書いてもらう。③授業終了後に作品を回収し、廊下の作品掲示板に展示し受講生はもとより一般の学生、教職員にも鑑賞してもらう。

受講生の感想

授業でいかに真善美融合の試みがどのように受け止められたか、受講生の感想コメントに纏められている。以下、抜粋。

- この授業を履修し、日本人の築いてきた文化や習慣そして現代も受け継がれている日本人としてあるべき姿について考えさせられたことは、自分にとって非常に新鮮でより柔軟な思考を持つことにつながった。自分の専攻する政治分野にも生かしていきたい。
- 授業で丁寧に字を書いている、ただ字を書くだけでなく、まさに「心を洗う」行為としての習字の面白さを理解できた。
- 自分が書くだけでなく、他の人が書いた作品を見ることで、多様な人の見方・考え方も学ぶことが出来た。画一的な傾向がある現代で、みんな違っていいということを教えてもらった気がして勇気付けられることもあった。展示から様々なことを勉強させてもらった。
- この授業は、多少堕落していた今までの生活を見直し、改善するきっかけにもなった。
- 日本に来るとき日本のイメージとして持っていたのは日本の昔の姿である。この授業でそれを初めて体験できた。
- 真善美を一度にできて総合的に一ランク上の人間になれた気がする。
- 道徳的に自分の意見を考えることができ、知らぬうちに勉強にもなっている。
- 授業を通じて人間的に成長できる。
- 真善美のうち真は客観的に立って追求していくもの、美はあくまで主観的なもの、善は主観と客観の一致が必要である。
- 真善美は学びを分かち合う友、道徳心の対象となる他者、作品を鑑賞し合う仲間がいて初めて成立する。
- もしもこの授業がただの講義だったらきっとつまらないものになっていたと思う。

新たな授業モデルの可能性

受講生の感想コメントにもあるように、古の日本人の叡智を結集した真善美融合授業は、日本人の学生ばかりでなく高齢者や外国人留学生にも有益であり、今後、実績と精査を積み重ね、新たな授業のモデル化を図って行きたい。